

令和7年度予算

一般会計予算討論の末6対1で可決



反対討論 渡邊 忠義 議員

二ツ沼公園の合宿の宿にかかる工事費について、コンクリートの耐震強度等の確認が不足していると考えており、将来ある子ども達に使用させることは理解ができません。

また、土砂採取事業区域の森林機能回復について、これまで8億2千万円も使い、更に2億5千万円も計上されていることは納得できませんので、反対します。

賛成討論 北郷 伯弘 議員

過去にも色々な話がありましたが、全て我々代表たる者がそれでやってきて、また令和7年度に向かって新たに怯むことなく、下がることなく、進めなきゃならないということですので、賛成です。



二ツ沼総合公園合宿の宿

※合宿の宿の耐震については、議会後に執行部より資料が提出され、平成17年度に耐震改修工事を実施したことを確認しました。

令和7年第1回定例会を3月7日から14日までの8日間の会期で開きました。

町長が施政方針を述べ、一般質問には6人の議員が農政、町政、事業執行、道路管理、環境美化、起業支援などについて、町の考えをたどりました。

町提出案件は23件で、人事、条例の制定及び一部改正、令和6年度3月補正予算、令和7年度当初予算などを審議し、全て原案のとおり可決しました。

また、「広野町議会政治倫理条例に関する調査特別委員会の設置について」の発議案が提出され、全会一致で可決しました。



遠藤 智 町長

町長の施政方針

本年、広野町は町政施行85周年を迎えます。ふる里広野町の歴史、伝統、文化に対する誇りを胸に、本年をふるさと復興・創生「漸進の年」と位置づけ、「いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町」を標榜し、日本一元気なまちづくりと更なる復興創生の躍進に向け一步一步確実に、全力で取り組んでいきます。

「いのちを守り」の事業として、株式会社ルネサンスとの協定による、すべてのライフステージを通して自発的で持続可能な健康づくりの推進、防災用トイレトラックの導入、消防団支援アプリの導入、折木地区土砂採取区域の森林回復等に取り組めます。

「ひとを活かし」の事業として、「とんぼのめがね米」など特産品の販売促進や消費拡大、いわき短期大学附属幼稚園との交流による幼児教育の質の向上及び人材育成等に取り組めます。

「未来をつくる町」の事業として、「第36回巨木を語ろう全国フォーラム福島・広野大会」の開催、産業団地への企業誘致、広野駅周辺整備、若者・子育て世帯の移住定住の促進、再生可能エネルギーの推進、子育て・教育環境の構築等に取り組めます。

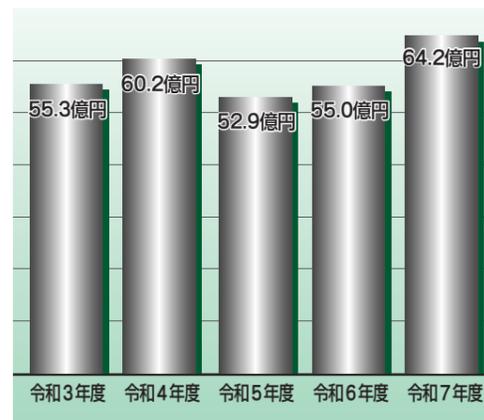
令和7年度予算の概要

一般会計予算は再エネ、森林機能回復、給食センター整備事業等で前年度比16.7%増

令和7年度予算は、東日本大震災からの復興・創生への取り組みを優先し、“ふる里復興・創生「漸進の年」”として、地域包括ケアシステムの拡充、ゼロカーボンビジョンの推進、移住・定住施策としての駅東側第2期開発住宅用地取得支援事業、広野駅周辺整備事業、地方公共団体情報システムの標準化・共通化事業を核とした編成となっています。

特に、復興・創生に係る主な経費としては、移住定住促進対策事業及び心の復興支援事業等を行うための地域振興対策費、自立継続サポート事業、健康づくり啓発普及事業、不妊治療費助成事業、環境放射線モニタリング事業、ふくしま森林再生事業、広野町学校給食共同調理場整備事業、グローバル教育推進事業費等を計上しています。

一般会計予算額の推移



令和7年度各会計当初予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	64億2476万円	16.7% ↑
特別会計	国民健康保険	6億8821万円 13.4% ↓
	土地開発事業	3654万円 33.1% ↓
	介護保険	5億3386万円 6.6% ↓
	後期高齢者医療	6906万円 13.7% ↑
下水道事業会計	3億7754万円	2.4% ↑
合計	81億2997万円	10.5% ↑